


事業実績（2020年度）

個人情報郵送のルール化

起案：看護部
関係職場：看護部、各部門、地域連携室

改善前

「診療情報提供書」を他院へ郵送する方法においては、患者が他院へ受診された際に郵送済みであったにもかかわらず「診療情報提供書」が届いてない現状がある。届先で封筒の内容が不明瞭な為、適切な部署に配布されていないことが考えられる。




各部門

改善後

- ・従来の窓付き封筒に「診療情報提供書在中」と大きく印字することで中身が患者情報であることを注意喚起できる。
- ・A4サイズの窓付き封筒を作成し、CD-R送付用を使用する。こちらにも「診療情報提供書在中」と印字する。

窓付き封筒にすることで手書きで住所を書かなくてすみ正しい住所で送付できる。



各部門

効果


郵送の業務に関して安心して業務できる。

患者転倒防止について

起案：医療安全管理部
関係職場：医療安全管理部、看護部、病院管理課、患者サービス室

改善前


雨の日に外来の床が濡れており、患者さんが転倒した事例が発生しました。外来の患者さんの転倒は、骨折などを受傷するリスクが高いことが分かっています。医療安全管理部の巡視にて、傘袋を使用しても袋が破れて雫が垂れ床が濡れる。傘袋を使用しない患者さんもある



各部門

改善後

現在、傘袋に入れる傘ポンと傘の雫を吸い取るクリーンが各2台ずつ正面玄関に設置されている。患者さんが傘ポンを利用する為に、混雑となり傘ポンや吸い取るクリーンをせずに院内に入っていく為、傘ポンと吸い取るクリーンを各1台ずつ購入する方向となった。



利用者が増えるといいです！
各部門

効果

傘ポン、吸い取るクリーンの利用が増える事で、傘からの雨の雫で床が濡れないことが期待できる。